



貫気別ファミリーフェスティバル 流しそうめん (6/30)

一人ひとりがまちづくりの主役です

広報

びらとり

8
2013

No. 627
月号

輝くびらとり未来につなごう

□今月号のトピックス□

- イザベラ・バードと平取の関わり
- まちのひろば
- 教育委員会からのお知らせ

- すこやかだより
- 図書館へいこう

特集！知っていますか？

かか イザベラ・バードと平取の関わり

イザベラ・バード (Isabella Lucy Bird)

1831年10月15日～1904年10月7日

英国のヨークシャーにて牧師の長女として出生。幼少期の病弱によって転地療養をしたことがきっかけとなり、旅行に憧れるようになる。

当時の日本は外国人が簡単に旅行できるような国ではなく、まだ海外に知られていない地域を訪れようと女性旅行家として北海道を目指した。



イザベラ・バードという英国人の人物を知っていますか。この女性は、明治維新までもない頃に東北を通じて北海道に渡り、平取を目指した女性旅行家として近年、注目されています。彼女は、蝦夷と呼ばれていた土地に住むアイヌ民族に大きな関心を持ったと手記にも記されており、開国までもない頃に日本のアイヌ民族について

又民族についての情報をどこで知り得たのかなど興味深く研究されています。

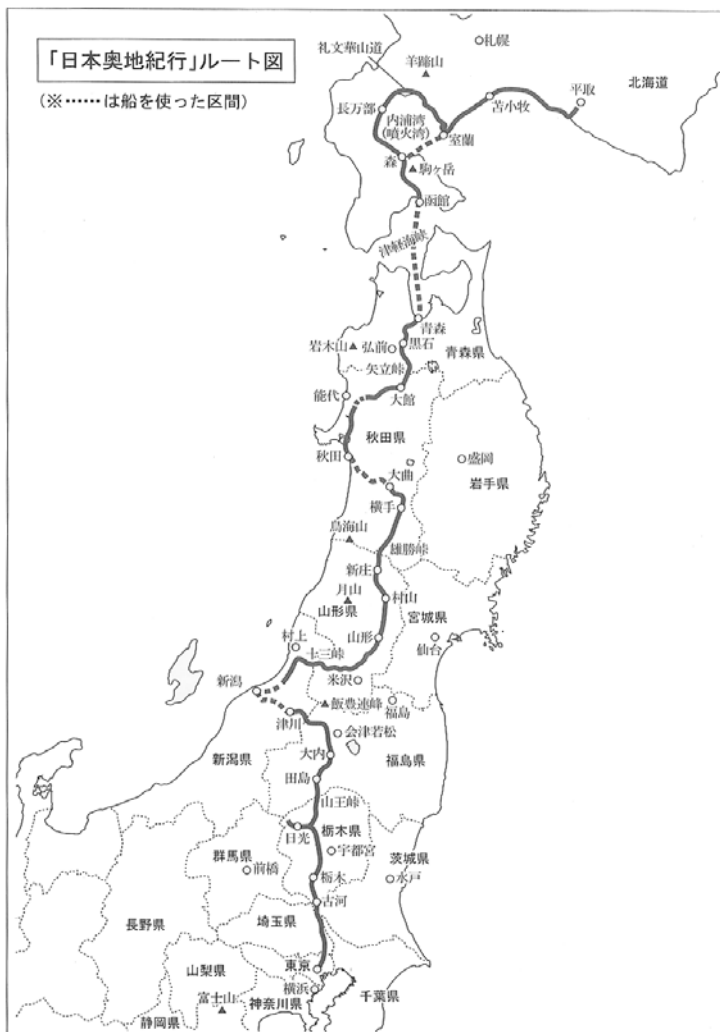
当時の北海道は、日本人にとっても未開の地としての認識が抜けきれておらず、女性が無謀とも思えるような旅をし、当時の様子を旅行記として残しています。ここでは、彼女がどのような旅をして平取へ来たのか、また、どのような体験をして後世に伝えるべく残したのかを解説します。

バードの目的と日本への旅

イザベラ・バードは、東京から北海道を目指して旅をしますが、関心の対象はアイヌ民族の人々であると記しており、平取を目的地にしていたことがわかります。バードのアイヌ民族への関心は、北海道に入ってからより顕著となり、明治期に入った当時の日本人のアイヌ観が差別的な見方から離れていない一方で、非常に人間的な民族としてアイヌ民族を評価し、日本人よりも親近感を持ったのではないかと想定されています。

目的地の平取への訪れ

イザベラ・バードが北海道へ渡り沙流流域に入ると、平賀・紫雲古津・去場・荷菜とコタンの村を通って平取へ訪れました。平取に入ってから首長ベンウリク宅に滞在しながら数日間を過ごし、積極的にアイヌ語の聞き取りなどアイヌ社会について調査し、当時の様子を残したとされています。この旅行過程も含めてバードは、各地の感想や調査結果などを「日本奥地紀行」として残しています。



イザベラ・バードの歩いたルート
『イザベラ・バード紀行』(伊藤孝博著 無明舎出版 2010年)

イザベラ・バードが残した功績

イザベラ・バードが残した「日本奥地紀行」では、当時の日本人の様子や景色はもとより、特に北海道に入ってからアイヌ民族について興味深く書かれています。アイヌ民族について興味深く書かれています。アイヌ民族の工芸品を文化資料として収集してたとされているH. V. シーボルト氏に出会ったことが書かれています。このシーボルト氏の「小シーボルト蝦夷見聞記」には、アットウシなどについての記載もされており、本年3月に二風谷イタと二風谷アットウシが、北海道初の伝統的工芸品として指定を受けるにあたっての参考となったとされています。



小シーボルト蝦夷見聞記
(平凡社)



日本奥地紀行
(平凡社)

現在の普及活動

イザベラ・バードが、どのような景色を臨みながら歩いたのかを調査し、エコ・ツーリズムに活かそうと有志者・大学・行政・企業が協力して取り組みが行われました。また、有志者で設立された「イザベラ・バードの道を辿る会」では、バードが沙流流域を歩いた軌跡を、日高町を起点とした平取町までの28箇所案内標識を設置し、また、バードの解説板も途中とゴール地点の2箇所設置され、フットパス(注①)が行われています。



フットパスの案内標識(左)と解説板(右)

注①フットパス
イギリスを発祥とする森林や田園地帯、古い街並みなど地域にある昔からの風景を楽しむながら歩く【Foot】ことができる小径【Path】のこと

イザベラ・バードの最後

最後の旅行となったのは、明治33年からのモロッコの旅で、明治37年にエディンバラで病死したとされており、バードが生涯をかけた数々の旅行は、医者のお勧めによる転地療養が目的であったとされ、日本旅行記の中でも背中への痛みについての記述が出てきます。

バードが残した著書による平取についての記述は、当時を知る貴重な資料で、アイヌ文化を伝えるうえで今後重要なものとなります。



晩年のバード

イザベラ・バードの道を辿る会

イザベラ・バードが残した軌跡を調査し、その功績を継承する活動を行う有志団体。大学教授を会長に、平取部会・白老部会の会員にて2007年に設立。

外国人女性として平取まで旅行し、優れた旅行記でアイヌの世界を欧米に紹介したイザベラ・バードの道を辿り、エコ・ツーリズムに活かす取り組みを実施。



イザベラ・バードの道を辿る会では、解説冊子を平取町役場と図書館(ふれあいセンターびらとり内)にて、各100部限定で無料配布しています。

問合せ先

イザベラ・バードの道を辿る会
事務局 窪田
✉:ruriko-kubota@nexyzbb.ne.jp

びらとり まちのひろば

宇梶剛士トークショー (6/27)

テレビドラマや映画などで活躍されている俳優の宇梶剛士さんのトークショーが二風谷生活館で開催されました。

トークショーでは、宇梶さんの生い立ちから学生時代、俳優になるまでの今までの道のりをお話していただきました。

◎この事業は「町民税 1% まちづくり事業」を活用し開催されました



貫気別ファミリーフェスティバル (6/30)

貫気別地区の恒例行事であるファミリーフェスティバルが、青空のもと貫気別生活館前で開催されました。

午前中はウォークラリー & クリーン作戦で貫気別市街をきれいにし、午後からは流しそうめん・焼き肉でお腹を満たし、その後は豪華抽選会・恒例のもちまき大会でまつりの最後を締めくくりました。

ふるさと給食「ニシパランチ」(7/1)

町のおいしい農畜産物を使ったふるさと給食「ニシパランチ」が町内の全小中学校で提供されました。

今回の献立は平取高等学校生が考案した「ピラタコライス」(平取産トマト・ななつぼし・黒豚を使用)で、沖縄料理のタコライスにびらとりトマトを使用することから「ピラタコライス」と命名されました。



第11回小林組ミニ動物園 (7/2)

株式会社小林組が主催しているミニ動物園が同社敷地内で開催され、町内から約 250 人の子どもたちが集まりました。

長沼町のハイジ牧場からやってきたフェレットやイグアナ、アヒルにポニーなど、普段触ることのできない動物たちを目の前にして、子どもたちは持ってきたエサをあげたり、抱いたりして動物とのふれあいを楽しんでいました。

交通安全ヘルメット寄贈 (7/4)

町建設協会・町交通安全推進委員会から、町内全小学校の児童へ自転車用交通安全ヘルメット(211個)が寄贈されました。

この日は建設協会の五十嵐千津雄会長が平取小学校を訪れ、平取小学校児童会にヘルメットを手渡し、交通ルールを守り正しく自転車に乗るよう呼びかけました。





第27回モンキーリバーランド夏まつり (7/7)

今年で27回目を数えるモンキーリバーランド夏まつりが、汗ばむ陽気の中ふれあいセンターびらとりの駐車場で開催されました。

会場には様々なアトラクションや模擬店、ヤマベのつかみどり、ピエロの「りんりん」によるバルーンパフォーマンスなど、楽しいひとときを過ごしていました。

北海道オールドカーフェスタ in びらとり (7/7)

モンキーリバーランド夏まつりの協賛イベントとして、北海道オールドカーフェスタ in びらとりが商工会前駐車場で開催されました。

会場には、いすゞ 117クーペやニッサンスカイラインハードトップ（通称ケンメリ）など時代を彩った往年の名車およそ50台が全道各地から集結し、観客の目を引いていました。



第29回全町老人スポーツ大会 (7/10)

高齢者の親睦・健康づくりを目的とした全町老人スポーツ大会が町民体育館で開催されました。

参加者は風船割りリレーや玉入れなど全9種類の競技を行い、順位を競いながらも和気あいあいとした雰囲気で行われました。なお、今年はCチーム（荷負・貫気別・旭・芽生）が優勝を飾りました。

伝統的工芸品指定記念フォーラム (7/27)

本年3月に二風谷イタ・二風谷アットゥシが伝統的工芸品に北海道で初めて指定されたことを記念したフォーラムが沙流川歴史館で開催されました。

講師の北海道大学山崎幸治准教授からは指定を受けた2品の紹介を、北海道大学大学院伊藤直哉教授からは今後の伝統的工芸品の展望について講演を受けました。



全国大会出場おめでとう！

第48回全国道場少年剣道大会（7月30～31日、日本武道館）の小学生団体の部に出場する平取義経剣心会の選手5名が町長室を表敬訪問し、全国での活躍を誓いました。

小山和馬くん 小林駿大くん 中村七生くん 木村朱稀さん 木村萌さん
（二風谷小5年）（二風谷小5年）（富川小6年）（貫気別小5年）（二風谷小5年）

教育委員会からのお知らせ

人とつながる喜び学び、望ましい人間関係築く「縦割り班」の活動

7月12日、平取小学校では、児童会書記局が計画立案して「縦割り班」でゲームを楽しむ「縦割り班集会」が実施されました。

集会の目的は、高学年がリーダーシップを発揮すると同時に、低・中学年には高学年に従い協力するフォロワーシップを育て、それぞれ自分の立場を自覚して活動する協調性や、相互理解による望ましい人間関係を築いていくことにあります。

近隣の遊び仲間や兄弟姉妹も減少する中で、「縦割り班」による交流を通して「人と関わることの楽しさ」を体で感じ、お世話される側からお世話する側へと役割の推移を時間をかけて自覚していく意義は大きく、平取小学校では、年間8回の縦割りの活動と2回の集会を毎年継続して実施しています。



「ジャングルのゴリラ」ゲームを楽しむ子どもたち

疑似体験を通して不審者からの避難方法を考える

7月9日、貫気別小学校では防犯教室が実施されました。

今、「放課後子ども教室」に向かって歩いているとします。後ろから車が近づいてきて、「かわいいね！写真撮っていい？車に乗っていいよ」と言われました。こんな時どうしたら良いか全員で考えましょう。

この教室、普段から不審者に対する意識を高め、緊急時における安全な避難の仕方を理解できるようにと、この日も上記のほかにも不審者の校内侵入などの場面を想定して、全校児童が疑似体験を通して学習しました。

子どもたちは、現実にかかる場面を想定した役場職員や門別警察署員による演技を見て、対応の仕方を話し合い、それを実際にみんなの前で試して見せます。

教職員も、不審者侵入の場合や、児童が助けを求めてきた場合の動き方や分担について確認し合い、子どもたちと運動してロールプレイに加わります。

子どもたちを取り巻く危険の多い中、こうした方法による取り組みの大切さが門別警察署員からの講評でも高く評価されました。また、注意力を高めるために覚えておきたい合い言葉「イカのおすし」の再確認も行われました。



～教室から～



平取中学校2年生の皆さん

「イカのおすし」

イ＝知らない人について
カ 行かない
の＝誘いや車に乗らない
お＝大声をあげる
す＝すぐ逃げる
し＝知らせる

平取町民大学スタート！

7月7日、町民大学の開校式及び第1回講座を開催しました。町民大学は、幅広い知識や技術の習得を目指し、18歳以上の町民と町内勤務者を対象に開設し、3月までに10回の講座を予定しています。

開校式では、豊糠の熊谷厚子さんが学生代表挨拶をし、年齢に関係なく学ぶことの大切さについて述べました。



講座の様子



学生代表あいさつ

第1回記念講座は、札幌市立藻岩北小学校教諭の佐藤広也氏により「わかりやすい日本国憲法の話」の講演が行われました。受講者は「本当にわかりやすく、憲法が身近に感じました」と感想を話していました。

第2回目は、8月30日午後7時より、㈱北海道セイコーマートの丸谷智保社長によるまちづくりについての講座です。

きれいな花壇を作ろう！講座

自治振興会では、花いっぱい運動の一環として、7月10日に身近な花を利用した花壇作りの講座を15名の参加により開催しました。札幌市在住、貫気別出身の日本フラワーデザイナー協会理事の佐藤ハル子氏を講師に迎え、中央公民館の花壇を利用して実習を行いました。

四角の花壇中心部には、ヤナギハヒマワリという背の高い花を植え、ポイントを作り、対角線上に4分割した花壇にマリーゴールド、ロベリアなどを均等に植え、最後に赤いケイトウで色彩を引き立たせ仕上げました。参加者は「同じ高さの花ばかりではなく背の高さの違う花を植えることにより、きれいな花壇になるというコツを学びました」と話していました。



咲きそろった花壇の様子

～サークル紹介～

平取ハーモニカ・オカリナ同好会

ハーモニカ、オカリナどちらも一番手軽な楽器です。毎回、みんな笑顔でとても楽しそうに演奏しています。未経験の方も大歓迎ですので、お気軽に見学に来てください。

活動日 毎月第2・4木曜日 (13:00～16:00)

活動場所 中央公民館 第1研修室

《会員募集中》 連絡先 上田智己 (☎ 2-2628)

創立年	平成 15年
代表者	上田 智己
会員数	5名



教育委員会からのお知らせ

第14回平取町小学生陸上競技大会開催

～2種目で大会記録更新！～

6月30日、平取中学校グラウンドで開催され、町内の小学生約70人が参加し記録を競い合いました。たくさんの声援の中、選手達は日頃の練習の成果を発揮し、白熱した大会となりました。



中でも100m 5年男子では、西山京侑さん（振内小）が昭和56年以来となる大会記録を更新し、さらに60m 1年女子では、島野未慧さん（平取小）と山道妃菜乃さん（二風谷小／記録11秒60）が平成12年の記録を更新しました。



また、今大会から新種目として「三種競技（50m走／走り幅跳び／ボール投げの合計得点を競う）」が加わり、1位の中川佳祐さん（振内小6年生）の記録が大会記録として登録されました。

来年も新記録を目指して頑張りましょう！

フィールド種目	氏名	小学校名	記録
走り幅跳び	男子3年	藤谷 瞭至	平 取 2.90m
	4年	川上 凜	振 内 2.94m
	5年	岡田 悠暉	紫雲古津 3.39m
	6年	伊東 和陽	貫気別 3.43m
	女子3年	高橋 桃葉	振 内 2.81m
	4年	川奈野 詩	振 内 2.54m
ソフトボール投げ	共通男子	中川 佳祐	振 内 56.70m
	共通女子	森 優貴	二風谷 20.65m

三種競技	氏名	小学校名	記録
共通男子	中川 佳祐	振 内	大会新記録 1,096点

※各種目の記録は1位のみ掲載

トラック種目	氏名	小学校名	記録
60m	1年男子	神田森太郎	平 取 12秒50
	女子	島野 未慧	平 取 大会新記録 11秒55
	2年男子	仲山 大温	平 取 11秒72
	女子	西川 柚葉	平 取 12秒02
100m	3年男子	藤谷 瞭至	平 取 18秒62
	女子	高橋 桃葉	振 内 17秒96
	4年男子	比嘉 楓太	振 内 19秒04
	女子	水野 真里	紫雲古津 18秒74
	5年男子	西山 京侑	振 内 大会新記録 14秒92
	女子	吉田 聖那	平 取 18秒66
800m	共通男子	船越 壘	平 取 2分52秒68
	共通女子	池川 琴胡	平 取 3分10秒86
4×50mリレー 男女共通 (1・2年)	原田 瑠南 藤田 華那 福居 義土 西川 柚葉	平 取	42秒92
4×100mリレー 共通男子 (3年以上)	渡邊 空知 中川 佳祐 西山 京侑 松澤 智也	振 内	1分04秒01
4×100mリレー 共通女子 (3年以上)	仲山 明里 北嶋 徳乃 渡部 黎 池川 琴胡	平 取	1分07秒15

800m 共通男子



里帰りしたアイヌ工芸品

二風谷で作られた男性正装衣

平成 25 年 6 月 25 日、長野県在住の渡邊俊夫さんより、サパンペ（冠）とアットゥシ（樹皮衣）、チンパオリ（陣羽織）※の 3 点が、二風谷アイヌ文化博物館に寄贈されました。

もともとは昭和 40 年代に渡邊さんの祖母が購入されたもので、アイヌ文化に興味をもった氏が譲り受け、保管していたそうです。その頃の二風谷はアイヌ工芸振興が軌道にのり、多くの観光客で賑わった時代でもありました。

当時においても、この「男性正装衣」3 点セットは高価であったと考えられます。渡邊さんと同様、祖母もアイヌ文化に造詣が深い方だったのでしょう。

40 年以上もの歳月を経て、こうして二風谷に里帰りを果たすことができました。

寄贈のきっかけ

渡邊さんは度々道内を訪れていて、今回、初めて平取町の二風谷に来られ、偶然にも民宿チセを経営している貝澤薫さん・かつえさん夫妻のところに宿泊されました。そこで、渡邊さんが所持していた工芸品を貝澤さん夫妻に見てもらったところ、一目で自分たちの制作したものと分かったそうです。

伝統的工芸品として

このたびのアイヌ工芸品 3 点の寄贈は、伝統的工芸品指定（平成 25 年 3 月 8 日：経済産業大臣指定）のタイミングに合うものとなりました。

指定品目である「二風谷アットゥシ」は、アイヌ文化の機織り技術を用いること、主原料をオヒョウニレもしくはシナノキとすること等を要件としています。

渡邊さんが大切にしてきたアットゥシは、これらの内容を満たしていること、二風谷におけるアイヌ工芸振興の最盛期の昭和 40 年代の制作であること等から、「二風谷アットゥシ」の貴重な資料として地域の伝統的工芸品を彩るものとなります。



貝澤さん夫妻と寄贈者の渡邊俊夫さん（右）



サパンペ（上）とアットゥシ・チンパオリ（下）

※チンパオリ（陣羽織）

男子が祭りの時に上に着る。袖がなく、肩は袴（かみしも）のようで丈は膝くらいまで、前は羽織のようになっていて打ち合わせない。金色や美しい色で刺しゅうしてある。

（『田村すず子 1995 『アイヌ語沙流方言辞典』より）

目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

—保健福祉課—

「介護予防で、いつまでも自分らしい生活を」

年をとると、からだの機能が低下してくるのは仕方がないと思っていませんか。

現在、平均寿命が80歳を超えています。今は、長生きをするだけではなく、長い人生を自分らしく生き生きと充実した生活を送るために、心とからだ健康である時間（健康寿命）を伸ばすことが注目されています。

そのためには、日頃から高齢者のみなさんが自ら、心とからだの機能の維持・向上を図る「介護予防」を行うことが重要となってきます。

ちょっとした不調から

最近、元気で活動的な高齢者の方々も多く、「介護や介護予防の話は自分には、まだ関係ない」と思っている方も多いと思います。しかし、何らかのきっかけでからだを動かす機会が減り、からだを動かさずじまってしまう危険性が誰にでもあります。

からだの機能は、少しずつ変化していきます。「歩きにくくなってきた」、「疲れやすい」などと感じたとき、年のせい

だからとあきらめず、日頃行っていた活動や外出をしなくなってしまうと、筋力が衰えたり、関節が固くなったりします。また、それに伴って、食欲が減り、栄養不足になっ

てしまい、体力が落ち、気力や意欲もわかなくなることがあります。その結果、からだを動かすことが、さらに大変となり、活動が低下し、悪循環へと陥ってしまうことがあります。

このように、ちょっとした不調から支援や介護が必要な状態へと変化してまいります。

介護予防とは・・・

介護予防は、「要介護状態の発生をできる限り防ぐ（遅らせる）こと、そして要介護状態にあっても、その悪化をできる限り防ぐこと、さらには軽減を目指すこと」と定義されていますが、その目的は、単に介護が必要な状態になるのを防ぐためだけに行うのではなく、自分自身が、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるようになることです。

あまり外に出歩かなくなったり、ほかの人や社会と接する機会が少なくなったりする

と、活動量が減り、心やからだの機能が低下していくおそれがあります。また、一度、介護が必要な状態になってしまつと、以前のように元気に外に出歩き、人と交流することが難しくなつてしまいます。

そうならないためにも、日頃から積極的に外出して、地域の活動に参加したり、人と交流することにより、生きがいや、やりがいを見つけ、生涯を通じて「介護予防」を続けることが重要となります。



平取町での取り組み

町では今後、介護が必要となる可能性の高い方（ゆうあい長寿さん）を把握し、その人に合った支援を考え（介護予防ケアマネジメント）、希望者には、約3ヶ月間の介護予防教室（ゆうあい長寿教室）にお誘いしています。

「基本チェックリスト」

今年度も、ゆうあい長寿さんに該当するかを判定する「基本チェックリスト」を65歳以上の平取町民を対象に、希望者に配布しています。

自分の心やからだの状態を、自分自身で知るためにも、「基本チェックリスト」を受けてみませんか。

「基本チェックリスト」とは、運動機能・栄養状態・口腔機能・認知機能などに関することについて、「はい」「いいえ」で答えられる25項目の質問となっております。

- ① 前年度ゆうあい長寿さんに該当になった方
- ② 前年度対象者で未返信の方
- ③ 1年間で65歳になった方
- ④ 介護認定を実施し、非該当になった方に対しては、個別郵送させていただきます。

☆問い合わせ先

平取町地域包括
支援センター ほほえみ
(保健福祉課介護支援係)

☎ 2・3700

図書館へいこう 平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 10:00～18:00 土・日曜日 10:00～17:00

○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。

TEL 4-6666

FAX 4-6871

✉ risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『泣き童子』／宮部みゆき

『愛ふたたび』／渡辺淳一

『なごり歌』／朱川湊人

『三途の川で落としもの』／西條奈加

『こんなわたしで、ごめんなさい』

／平安寿子

『Arknoah(アークノア)1 僕のつくった

怪物』／乙一

『世界地図の下書き』

／朝井リョウ

『月神』／葉室麟

『総理の夫』／原田マハ

『国語、数学、理科、誘拐』

／青柳碧人

『増山超能力師事務所』／誉田哲也

『そんなに、変わった?』

／酒井順子

【家庭・生活・趣味】

『はじめてのナチュラルスイーツ』

／石橋かおり

『乾麺ですぐにごはん』／飛田和緒

『おかず、おつまみ、おもてなしに

すぐ使える絶品マリネ』

／坂田阿希子

【社会・経済・その他】

『微生物ハンター、深海を行く』

／高井研

『ひんやり氷の本』／前野紀一



雑誌が新しく なりました

8月から、図書館の雑誌が新しくなりました。図書館に置いている雑誌のうち、10種類を入れ替えました。購入をやめた雑誌も、しばらくは雑誌コーナーに置いてありますので、貸し出しもできます。

○新しく入った雑誌○

・「ファイターズマガジン」

・「日経エンタテインメント！」

…国内エンタメ

・「ホビージャパン」…趣味・エンタメ

・「MyLoFE(マイロフェ)」…北海道の園芸

・「driver(ドライバ-)」…自動車

・「GOETHE(ゲーテ)」

…男性ライフスタイル

・「メンズノンノ」…男性ファッション

・「SPRING(スプリング)」

…女性ファッション

・「MOE(モエ)」…絵本

・「クーヨン」…育児

図書ワゴン（移動図書館車）運行日程【9月】

5日（木）【貫気別地区】

10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前

11:30～12:00 貫気別生活館

13:15～13:45 芽生生活改善センター

14:00～14:30 旭生活館

6日（金）【振内地区】

11:00～12:00 山の駅ほろしり館

13:15～13:45 岩知志ふれあい館

14:15～14:45 豊糠生活改善センター

□利用者カードなしでも、ご利用できます。

□貸出期間は、次の巡回日までになります。

□本の返却、不用な本のご寄贈も受け付けます。

8月の休館日

5・12・19・26日

9月の休館日

2・9・16・17・23・24・30日



今月のワンショット



■夏休み子どもクッキング（中高生の部）（7/29）

町内の中高生24人が集まり、びらとり黒豚を使用した「びらとり風カツレツ」を作りました。

楯 の 実 俳 句

貸店舗多き街並暑に黙す
空の色気温を肌であめんぼう
主なき家守るかに赤つつじ
昆布干す皺の手浜の空晴るる
草刈りの夫はしきりに空気にす
どこまでも続く夏の空雨ほしや
青柳裏吹く風に白く揺れ
緑陰に杖休ませて風を待ち
川風や涼しく歩む橋長き
習わぬ経誦めばほとりと沙羅の花

柴田 紫梢
中道 サト
吉野千佳女
西塔しずえ
遠藤 紫光
内海 綾子
渡辺 正子
石森 礼子
山崎 喜峰
井内 青風

まちの人口	人口	5,510 (▲ 18)
	男	2,670 (▲ 13)
	女	2,840 (▲ 5)
	世帯数	2,606 (▲ 9)
	外国人住民数	131

()内は前月比 7月末現在

発生状況	交通事故	発生件数	1件 (▲ 4件)
		死者数	0人 (▲ 3人)
		傷者数	1人 (▲ 3人)
		()内は前年比 7月末現在 死亡事故ゼロ日数	432日

担当課へは直通
電話が便利です

役場関係電話番号

平取町役場（本庁）
総務課(代表) ☎2-2221
まちづくり課 ☎2-2222
産業課 ☎2-2223
税務課 ☎2-2224
出納室 ☎2-2225
建設水道課 ☎2-2226
議会事務局 ☎2-2227
アイヌ施策推進課
☎2-2341
農業委員会・土地改良区
☎2-2695

ふれあいセンターびらとり
☎4-6111
保健福祉課 ☎4-6112
町民課 ☎4-6113
児童館 ☎2-3026
子ども発達支援センター
☎2-3400
地域包括支援センター
「ほほえみ」 ☎2-3700
平取町社会福祉協議会
☎4-2267
図書館 ☎4-6666

平取町教育委員会
中央公民館 ☎2-2619
町民体育館 ☎2-2749
二風谷アイヌ文化博物館
☎2-2892
沙流川歴史館 ☎2-4085

役場振内支所
☎3-3211
役場貫気別支所
☎5-5024

平取町国民健康保険病院
☎2-2201

平取町外2町衛生施設組合
☎2-2024

日高西部消防組合平取支署
☎2-2361

平取町公式ホームページ



QRコード

広報 **びらとり** 2013（平成25）年
8月号 No.627
発行：平取町役場 編集：総務課広報広聴係
この広報誌は資源保護のため再生紙を使用しています。

平取町ホームページ <http://www.town.biratori.hokkaido.jp>
Eメール info@town.biratori.hokkaido.jp
〒055-0192 北海道沙流郡平取町本町28番地
☎(01457) 2-2221 FAX (01457) 2-2277